

	視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	基礎学力の充実に向けたバランスのとれた教育課程を編成するとともに多様な生徒の進路希望に対応する質の高い学習指導に取り組み、生徒一人ひとりの学習機会の拡大を促進する。	○学習指導要領の改訂を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進し、確かな学力を育成する。	生徒が主体的に課題を発見し、解決策を見出していく力を付けさせるよう、ICT を利活用した授業展開を工夫し、校内研修会等で教員間で共有する。	・授業改善を推進するための研究協議が活発に行なわれたか。 ・生徒が主体的に課題を発見し、解決策を見出していく力がついたか。 自ら振り返り、成長していく力がついたか。
2	生徒指導・ 支援	①自転車マナーの向上を積極的に進め、交通安全に対する取組みを組織的に推進する。 ②生徒の自主的・主体的な活動を支援し、豊かな人間性や社会性を培う活動内容の充実を図る。	①登下校時の自転車マナー・交通規則遵守の徹底を図る。 ②部活動の活性化を図るとともに、生徒の主体的な生徒会活動や行事運営を推進する。	①・定期的実施の交通安全指導及び、不定期に必要な期間、危険な箇所に立ち、交通規範遵守の精神を養うとともに、マナーアップの徹底を図る。 ・職員、保護者、地域、警察との連携を強化するとともに、生徒自らが交通安全啓発活動を積極的に行えるような組織づくりをする。 ②・部活動の加入率を上げ活発な活動が行えるよう、随時部活加入を促す掲示や生徒会役員からの呼びかけの機会を積極的に行う。 ・従来の生徒会、委員会の活動に止まらず、新しい活動の機会を提供できるようサポートしていく。	①事故、及び近隣住民からの指摘をゼロにすることができたか。また生徒の自転車運転規範遵守、マナーアップの意識の向上が見られたか ・生徒が主体的に交通安全への意識を向上させることができたか。 ②・部活動の加入率が上がったか。また、加入率が維持されたか。 ・委員会活動が活発に行われたか。
3	進路指導・ 支援	社会的・職業的に自立できる力の醸成を図り、生徒一人ひとりが主体的に進路を考える姿勢を育むキャリア教育の充実を推進する。	○キャリア教育実践プログラムに沿って、全学年で統一感を持った計画的・組織的な進路指導を行う。	自己の進路実現に向け、各学年でテーマを設定し、具体的に活動する。（1 学年では、広く職業について学習する。 2 学年では、職業観を養う。3 年では、個別活動を充実させる。）	自己の進路実現に向け、各学年のテーマに沿ったプログラムが展開されたか。
4	地域等との 協働	P T A との連携、地域、企業の教育力の活用などにより学校理解の促進を図るとともに、地域に開かれた地域とともにある安全・安心な学校づくりを進める。	○P T A 活動やコミュニティ・スクール等を活用し、地域の理解と協力を得ながら、地域との連携・協働を推進する。	P T A 活動において、生徒会や自治会等と連携し、地域夏祭りへの協力や地域貢献デーの清掃活動などの連携事業を計画・実施する。	連携事業が実施できたか。具体的な成果があったか。
5	学校管理 学校運営	①生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化するとともに、地域と連携した災害時の体制整備を研究する。 ②教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む組織の育成を図る。	①災害時に、知識をもとに的確な判断と、適切な行動が主体的にとれるよう、防災教育を推進する。 ②ICT 利活用により、業務の共有と効率化を図り、ICT（イノベーション・チャレンジ・チームワーク）を推進する。	①避難訓練や DIG 研修を実施することで、生徒の防災意識を高め、地域と連携した災害時の体制整備を模索する。 ②学内グループウェアや G Suite などの利用により情報共有と業務の効率化を進め、職員の負担軽減を図る。	①生徒の意識は向上したか。地域との連携はできたか。 ②ICT の利活用により業務の効率化と負担軽減がされたか。また、教員の ICT 活用を指導する能力が高まったか。